

## 「CAN-DOリスト」の形で設定した学習到達目標

	聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
第5学年	<p>ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる</p> <p>イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる</p> <p>ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる</p>	<p>ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる</p>	<p>ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができる</p> <p>イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる</p> <p>ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる</p>	<p>ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる</p> <p>イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる</p> <p>ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる</p>	<p>ア 大文字、小文字を活字体で書くことができる</p>
第6学年	<p>ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる</p> <p>イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる</p> <p>ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる</p>	<p>イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。また、音の読み方に慣れ親しむことができる</p>	<p>イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる</p> <p>ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる</p>	<p>ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる</p> <p>イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる</p> <p>ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる</p>	<p>ア 語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる</p> <p>イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる</p>

# 「CAN-DOリスト」作成手順

## 「CAN-DOリスト」の形で設定した学習到達目標

	聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
第5学年	ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる	ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができる	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる	ア <u>大文字、小文字を活字体で書くことができる</u>
	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる	イ 「読むこと」の指導の初期段階なので、第5学年の到達目標は、アルファベットの名称が読めるようにするところまでとした	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる	イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる	「書くこと」の指導の初期段階なので、第5学年の到達目標は、アルファベットを書くところまでとした
第6学年	ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる	ア	ア	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる	ア 語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる
	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。また、音の読み方に慣れ親しむことができる	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを伝えることができる	イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる

「読むこと」の指導の初期段階なので、第5学年の到達目標は、アルファベットの名称が読めるようにするところまでとした

使用教科書を参照すると、指示・依頼に当たる内容は第5学年で学習するので、第6学年では空欄とした

学習指導要領解説では、文字が示す音の読み方（フォニックス）についても指導することが示されている

「書くこと」の指導の初期段階なので、第5学年の到達目標は、アルファベットを書くところまでとした

アルファベットを書くことが身に付いているので、第6学年の到達目標は、語句や表現を書き写したり書いたりすることとした

## 作成手順

① 小学校の学習到達目標を確認する

小学校学習指導要領第2章第10節外国語第2各言語の目標及び内容等を参照し、目標(1)～(5)を卒業時の学習到達目標とする。

② 第5学年と第6学年で到達すべき目標を分ける

学校や児童の実態、使用する教科書の内容に応じて、学習到達目標の到達すべき時期を、第5学年と第6学年に分ける。



内容を検討する

各学年の学習到達目標の内容を、地域や学校の特色、行事、総合的な学習の時間で行う内容、予定している言語活動などから、具体化して記述することも考えられる。

## 第5学年 年間指導計画（1学期）

単元名 (時数)	単元の目標	重点領域 CAN-DOリスト 対応項目	言語活動	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit 1 Hello, friends. (8)	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、名前や好きなものについて聞き取ったり、考えや気持ちなどを伝え合ったりすることができる。また、アルファベットの活字体の読み方を発音したり、書いたりすることができる。  ※なお、本単元における「読むこと」「書くこと」については、目標に向けた指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。	聞くこと ア  話すこと [やり取り] イ	教員やALTの自己紹介から、名前や好きなものなどを聞き取る。  学級の友達と、名刺カードを示しながら名前や好きなものなどを尋ね合い、自己紹介を行う。	〈知識〉 色やスポーツ、食べ物などを表す語句や How do you spell your name? I'm ~. I like ~. What ~ do you like? の表現について理解している。  〈技能〉 ④名前や好きなものについて、上記の語句や表現を聞き取る技能を身に付けている。  ⑤名前や好きなものについて、上記の語句や表現等を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	④相手のことをよく知るために、名前や好きなものについて聞き取っている。  ⑤自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、名前や好きなものについて、考えや気持ちなどを伝え合っている。	④相手のことをよく知るために、名前や好きなものについて聞き取ろうとしている。  ⑤自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、名前や好きなものについて、考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。
Unit 2 When is your birthday? (8)	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、誕生日や欲しいものについて、具体的な情報を聞き取ったり、考えや気持ちなどを伝え合ったりすることができる。	聞くこと イ  話すこと [やり取り] イ	教員とALTのやり取りから、誕生日や欲しいものなどの具体的な情報を聞き取る。  学級の友達と、誕生日や欲しいものなどを尋ね合う。尋ね合ったことを基にバースデーカードを作成する。	〈知識〉 月や日付、身の回りのものなどを表す語句や When is your birthday? My birthday is ~. What do you want for your birthday? I want ~. の表現について理解している。  〈技能〉 ④誕生日や欲しいものについて、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。  ⑤誕生日や欲しいものについて、上記の語句や表現等を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	④相手のことをよく知るために、誕生日や欲しいものについて、具体的な情報を聞き取っている。  ⑤自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、誕生日や欲しいものについて、考えや気持ちなどを伝え合っている。	④相手のことをよく知るために、誕生日や欲しいものについて、具体的な情報を聞き取ろうとしている。  ⑤自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、誕生日や欲しいものについて、考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。
Unit 3 What do you want to study? (8)	自分のことをよく知ってもらうために、学びたい教科やなりた職業について、話すことができる。	話すこと [発表] ア	オリジナルの時間割を作成し、学びたい教科やなりた職業などをグループの友達に発表する。	〈知識〉 曜日や教科、職業などを表す語句や What do you want to study? I want to study ~. What do you want to be? I want to be ~. の表現について理解している。  〈技能〉 ⑥学びたい教科やなりた職業について、上記の語句や表現等を用いて、話す技能を身に付けている。	⑥自分のことをよく知ってもらうために、学びたい教科やなりた職業について、話している。	⑥自分のことをよく知ってもらうために、学びたい教科やなりた職業について、話そうとしている。
パフォーマンステスト1 (2)	上に同じ	上に同じ	同様の発表を学級全体の前で行う。	※本計画では、パフォーマンステスト1をUnit3と関連付けているが、学校の実態に応じ、他の単元と関連付けたり、Unit1～3の内容を総合したりして実施することが考えられる。		

## 第5学年 年間指導計画（2学期）

単元名 (時数)	単元の目標	重点領域 CAN-DOリスト 対応項目	言語活動	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit 4 He can bake bread well. (8)	自分や第三者のことをよく知ってもらったり、相手や第三者のことをよく知ったりするために、その人との関係やできることについて、具体的な情報を聞き取ったり、伝えようとする内容を整理した上で話したりすることができる。	聞くこと イ  話すこと [発表] イ	教員やA L T の話を聞き、紹介した人について、具体的な情報を聞き取る。  グループの友達に「Who is this?クイズ」を出し、紹介したい人のことを発表する。	<p>〈知識〉 自分との関係や職業、動作などを表す語句や Who is ~? This is ~. Can you ~? I/He/She can/can't ~. の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉  <input checked="" type="checkbox"/> 相手と第三者の関係やできることについて、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。  <input checked="" type="checkbox"/> 自分と第三者の関係やできることについて、上記の語句や表現等を用いて、話す技能を身に付けている。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 相手や第三者のことをよく知るために、その人との関係やできることについて、具体的な情報を聞き取っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 自分や第三者のことをよく知ってもらうために、その人との関係やできることについて、伝えようとする内容を整理した上で話している。	<input checked="" type="checkbox"/> 相手や第三者のことをよく知るために、その人との関係やできることについて、具体的な情報を聞き取るようとしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 自分や第三者のことをよく知ってもらうために、その人との関係やできることについて、伝えようとする内容を整理した上で話そうとしている。
Unit 5 Where is the post office? (8)	自分たちの夢の町について知ってもらったり、相手の夢の町について知ったりするために、施設への行き方を尋ねたり、それに応じて答えたりして伝え合うことができる。	話すこと [やり取り] ア	グループごとに「夢の町マップ」を作成し、違うグループの友達と、欲しい施設やその施設への行き方を尋ね合う。	<p>〈知識〉 建物や位置などを表す語句や Where is ~? Go straight for ~ block(s). Turn left/right. It's by/in/on/under/~. You can see it on your left/right. の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉  <input checked="" type="checkbox"/> 夢の町について、上記の語句や表現等を用いて、施設への行き方を尋ねたり、それに応じて答えたりする技能を身に付けている。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 自分たちの夢の町について知ってもらったり、相手の夢の町について知ったりするために、施設への行き方を尋ねたり、それに応じて答えたりして伝え合っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 自分たちの夢の町について知ってもらったり、相手の夢の町について知ったりするために、施設への行き方を尋ねたり、それに応じて答えたりして伝え合おうとしている。
パフォーマンステスト2 (2)	上に同じ	上に同じ	同様のやり取りを、教員やA L T と1対1で行う。	※本計画では、パフォーマンステスト2をUnit5と関連付けているが、学校の実態に応じ、他の単元と関連付けたり、Unit4～6の内容を総合したりして実施することが考えられる。		
Unit 6 What would you like? (8)	自分の考えをよく知ってもらったり、相手の考えをよく知ったりするために、丁寧に料理を注文したり、注文に応じたりして伝え合うことができる。	話すこと [やり取り] ア	店員役とお客さん役に分かれ、A L T のために選んだメニューについて、注文したり、それに応じたりする。	<p>〈知識〉 食べ物や飲み物、値段などを表す語句や What would you like? I'd like ~. How much is it? It's ~ yen. の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉  <input checked="" type="checkbox"/> 自分や相手の欲しい料理について、上記の語句や表現等を用いて、料理を注文したり、それに応じたりする技能を身に付けている。         </p>	<input checked="" type="checkbox"/> 自分の考えをよく知ってもらったり、相手の考えをよく知ったりするために、丁寧に料理を注文したり、注文に応じたりして伝え合っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 自分の考えをよく知ってもらったり、相手の考えをよく知ったりするために、丁寧に料理を注文したり、注文に応じたりして伝え合おうとしている。

## 第5学年 年間指導計画（3学期）

単元名 (時数)	単元の目標	重点領域 CAN-DOリスト 対応項目	言語活動	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit 7 Welcome to Japan. (8)	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、好きな季節とその理由について、その場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	話すこと [やり取り] ウ	グループの友達と、好きな季節やその理由などを尋ね合う。尋ね合ったことを基に、グループで日本のおすすめの季節を紹介するポスターを作る。	<b>〈知識〉</b> 季節や日本の遊び、年中行事などを表す語句や Why do you like ~? We have ~. What do you do ~? I usually ~. You can ~. の表現について理解している。  <b>〈技能〉</b> <input checked="" type="checkbox"/> 好きな季節とその理由について、上記の語句や表現等を用いて、その場で質問したり質問に答えたりして、伝え合う技能を身に付けている。	<input checked="" type="checkbox"/> 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、好きな季節とその理由について、その場で質問したり質問に答えたりして、伝え合っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、好きな季節とその理由について、その場で質問したり質問に答えたりして、伝え合おうとしている。
Unit 8 Who is your hero? (8)	自分の気持ちを知ってもらったり、相手の気持ちを知ったりするために、友達のアコガレの人について、短い話の概要を捉えたり、自分のアコガレの人について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話したりすることができる。	聞くこと ウ   話すこと [発表] ウ	教員やALTの話聞き、アコガレの人やその理由など、短い話の概要を聞き取る。  1人ずつ、学級全体の前で、アコガレの人やその理由などを発表する。	<b>〈知識〉</b> 性格や頻度、動作などを表す語句や Who is your hero? My hero is ~. Why is ~ your hero? He/She is good at ~. の表現について理解している。  <b>〈技能〉</b> <input checked="" type="checkbox"/> 友達のアコガレの人について、短い話の概要を捉える技能を身に付けている。  <input checked="" type="checkbox"/> 自分のアコガレの人について、上記の語句や表現等を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。	<input checked="" type="checkbox"/> 相手の気持ちを知るために、友達のアコガレの人について、短い話の概要を捉えている。  <input checked="" type="checkbox"/> 自分の気持ちを知ってもらうために、自分のアコガレの人について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	<input checked="" type="checkbox"/> 相手の気持ちを知るために、友達のアコガレの人について、短い話の概要を捉えようとしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 自分の気持ちを知ってもらうために、自分のアコガレの人について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
パフォーマンステスト3 (2)	自分の気持ちを知ってもらったり、相手の気持ちを知ったりするために、アコガレの人について、考えや気持ちなどを伝え合うことができる。	話すこと [やり取り] イ	教員やALTと1対1でやり取りを行い、アコガレの人についての質問に答える。	<b>〈知識〉</b> 上に同じ  <b>〈技能〉</b> <input checked="" type="checkbox"/> アコガレの人について、上記の語句や表現等を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	<input checked="" type="checkbox"/> 自分の気持ちを知ってもらったり、相手の気持ちを知ったりするために、アコガレの人について、考えや気持ちなどを伝え合っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 自分の気持ちを知ってもらったり、相手の気持ちを知ったりするために、アコガレの人について、考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。
※本計画では、パフォーマンステスト3を Unit 8 と関連付けているが、学校の実態に応じ、他の単元と関連付けたり、Unit 7～8の内容を総合したりして実施することが考えられる。						

参考文献：小学校外国語用 文部科学省検定済教科書 NEW HORIZON Elementary English Course 5, アレン玉井光江, 阿野幸一, 濱中紀子ほか, 東京書籍, 平成31年検定済 英語 501

### ※**読むこと ア**, **書くこと ア**の指導と評価について

本計画では、「読むこと ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる」、「書くこと ア 大文字、小文字を活字体で書くことができる」を第5学年の学習到達目標とし、目標に向けた指導を、年間を通じて行うこととする。活字体で書かれた文字を識別したり、その読み方を発音したりすることや大文字、小文字を活字体で書くことを、各単元で少しずつ指導し、学習状況を確認する。記録に残す評価については、学校の実態に応じ、各学期末に分けて行うことも考えられる。

## 第6学年 年間指導計画（1学期）

単元名 (時数)	単元の目標	重点領域 CAN-DOリスト 対応項目	言語活動	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit 1 This is me! (8)	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、名前や好きなもの、誕生日について、具体的な情報を聞き取ったり、伝えようとする内容を整理した上で話したりすることができる。	聞くこと イ  話すこと [発表] イ	<p>教員やALTの自己紹介から、名前や好きなもの、誕生日などの具体的な情報を聞き取る。</p> <p>名前や好きなもの、誕生日などを発表し、学級で自己紹介をする。</p>	<p>〈知識〉 月や日付、身の回りのものなどを表す語句や I'm ~. I'm from ~. I like ~. My birthday is ~. の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 聞名前や好きなもの、誕生日について、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。 発名前や好きなもの、誕生日について、上記の語句や表現等を用いて、話す技能を身に付けている。</p>	<p>聞相手のことをよく知るために、名前や好きなもの、誕生日について、具体的な情報を聞き取っている。</p> <p>発自分のことをよく知ってもらうために、名前や好きなもの、誕生日について、伝えようとする内容を整理した上で話している。</p>	<p>聞相手のことをよく知るために、名前や好きなもの、誕生日について、具体的な情報を聞き取ろうとしている。</p> <p>発自分のことをよく知ってもらうために、名前や好きなもの、誕生日について、伝えようとする内容を整理した上で話そうとしている。</p>
Unit 2 How is your school life? (8)	自分のことをよく知ってもらうために、普段の生活の様子や大切にしているものについて、話すことができる。	話すこと [発表] ア	<p>学級の友達の前で、普段することや宝物を発表する。その様子を動画で撮影し、他校のALTへの自己紹介動画とする。</p>	<p>〈知識〉 動作や頻度、身の回りのものなどを表す語句や I live in ~. I go to ~. I usually ~. My treasure is ~. の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 発普段の生活の様子や大切にしているものについて、上記の語句や表現等を用いて、話す技能を身に付けている。</p>	<p>発自分のことをよく知ってもらうために、普段の生活の様子や大切にしているものについて、話している。</p>	<p>発自分のことをよく知ってもらうために、普段の生活の様子や大切にしているものについて、話そうとしている。</p>
Unit 3 Let's go to Italy. (8)	<p>自分が調べたことをよく知ってもらうために、おすすめの数国について話したり、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いたりすることができる。</p> <p>また、相手が調べたことをよく知るために、おすすめの数国について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を読んで意味が分かる。 ※なお、本単元における「話すこと[発表]」については目標に向けた指導は行いが、本単元内で記録に残す評価は行わない。</p>	書くこと イ  読むこと イ	<p>その国でできることをまとめた「おすすめの数国紹介カード」を書く。</p> <p>グループの友達と、互いに書いた「おすすめの数国紹介カード」を交換して読み合い、分かったことをワークシートにまとめる。</p>	<p>〈知識〉 国名や食べ物、様子などを表す語句や You can ~. It's ~. の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 書おすすめの数国について、音声で十分に慣れ親しんだ上記の語句や表現を用いて、書く技能を身に付けている。 読おすすめの数国について、音声で十分に慣れ親しんだ上記の語句や表現で書かれたものを読んで、意味が分かるために必要な技能を身に付けている。</p>	<p>書自分が調べたことをよく知ってもらうために、おすすめの数国について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いている。</p> <p>読相手が調べたことをよく知るために、おすすめの数国について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を読んで意味が分かっている。</p>	<p>書自分が調べたことをよく知ってもらうために、おすすめの数国について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書こうとしている。</p> <p>読相手が調べたことをよく知るために、おすすめの数国について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を読んで意味を分かろうとしている。</p>
パフォーマンステスト1 (2)	自分が調べたことをよく知ってもらうために、おすすめの数国について、伝えようとする内容を整理した上で話することができる。	話すこと [発表] イ	<p>1人ずつ、教員やALTにおすすめの数国について発表する。</p>	<p>〈知識〉 上に同じ 〈技能〉 発おすすめの数国について、上記の語句や表現等を用いて、話す技能を身に付けている。</p>	<p>発自分が調べたことをよく知ってもらうために、おすすめの数国について、伝えようとする内容を整理した上で話している。</p>	<p>発自分が調べたことをよく知ってもらうために、おすすめの数国について、伝えようとする内容を整理した上で話そうとしている。</p>
<p>※本計画では、パフォーマンステスト1を Unit 3と関連付けているが、学校の実態に応じ、他の単元と関連付けたり、Unit 1～3の内容を総合したりして実施することが考えられる。</p>						

## 第6学年 年間指導計画（2学期）

単元名 (時数)	単元の目標	重点領域 CAN-DOリスト 対応項目	言語活動	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit4 Summer Vacations in the World (8)	自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話すことができる。	話すこと [発表] ウ	学級の友達に、夏休みの思い出について発表する。	<p>〈知識〉 場所や動作、食べ物、様子などを表す語句や I went ～. I enjoyed ～. I ate ～. It was ～. の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 夏休みの思い出について、上記の語句や表現等を用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。</p>	<p>聞 自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話している。</p>	<p>聞 自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。</p>
Unit5 We all live on the Earth. (8)	自分が調べたことをよく知ってもらうために、食物連鎖について話したり、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を書き写したりすることができる。 また、相手が調べたことをよく知るために、食物連鎖について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を読んで意味が分かる。 ※なお、本単元における「話すこと[発表]」については目標に向けた指導は行いが、本単元内で記録に残す評価は行わない。	書くこと ア  読むこと イ	<p>グループごとに、食物連鎖について調べたことを、「食物連鎖カード」にまとめる。</p> <p>グループ同士で、食物連鎖について調べたことを書いた「食物連鎖カード」を交換して読み合う。</p>	<p>〈知識〉 生き物、生息地などを表す語句や Where do ～ live? ～ live in ～. What do ～ eat? ～ eat ～. の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 食物連鎖について、音声で十分に慣れ親しんだ上記の語句や表現を書き写す技能を身に付けている。 食物連鎖について、音声で十分に慣れ親しんだ上記の語句や表現で書かれたものを読んで、意味が分かるために必要な技能を身に付けている。</p>	<p>聞自分が調べたことをよく知ってもらうために、食物連鎖について、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を書き写している。</p> <p>読相手が調べたことをよく知るために、食物連鎖について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を読んで意味が分かっている。</p>	<p>聞自分が調べたことをよく知ってもらうために、食物連鎖について、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を書き写そうとしている。</p> <p>読相手が調べたことをよく知るために、食物連鎖について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を読んで意味を分かろうとしている。</p>
パフォーマンステスト2 (2)	自分が調べたことをよく知ってもらったり、相手が調べたことをよく知ったりするために、食物連鎖について、身近で簡単な事柄を伝え合うことができる。	話すこと [やり取り] イ	グループごとに、教員やALTからの食物連鎖についての質問に答える。	<p>〈知識〉 上に同じ</p> <p>〈技能〉 食物連鎖について調べたことを、上記の語句や表現等を用いて、伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>聞自分が調べたことをよく知ってもらったり、相手が調べたことをよく知ったりするために、食物連鎖について、身近で簡単な事柄を伝え合っている。</p>	<p>聞自分が調べたことをよく知ってもらったり、相手が調べたことをよく知ったりするために、食物連鎖について、身近で簡単な事柄を伝え合おうとしている。</p>
※本計画では、パフォーマンステスト2を Unit5 と関連付けているが、学校の実態に応じ、他の単元と関連付けたり、Unit4～6の内容を総合したりして実施することが考えられる。						
Unit6 Let's think about our food. (8)	おすすめのメニューに込めた相手の考えをよく知るために、食材について聞き取ることができる。おすすめのメニューに込めた互いの考えをよく知るために、食材について、その場で質問したり質問に答えたりして伝え合うことができる。	聞くこと ア  話すこと [やり取り] ウ	<p>教員やALTが考えたおすすめのメニューの食材について聞き取る。</p> <p>グループ同士で、考案したおすすめのメニューの食材について伝え合う。</p>	<p>〈知識〉 食べ物、メニューなどを表す語句や～ is from ～. ～ is in the ～ group. の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 おすすめのメニューについて、上記の語句や表現を聞き取る技能を身に付けている。 おすすめのメニューについて、上記の語句や表現等を用いて、伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>聞おすすめのメニューに込めた相手の考えをよく知るために、食材について聞き取っている。</p> <p>聞おすすめのメニューに込めた自分の考えをよく知ってもらったり、相手の考えをよく知ったりするために、食材について、その場で質問をしたり質問に答えたりして伝え合っている。</p>	<p>聞おすすめのメニューに込めた相手の考えをよく知るために、食材について聞き取ろうとしている。</p> <p>聞おすすめのメニューに込めた自分の考えをよく知ってもらったり、相手の考えをよく知ったりするために、食材について、その場で質問をしたり質問に答えたりして伝え合おうとしている。</p>



## 第6学年 年間指導計画（3学期）

単元名 (時数)	単元の目標	重点領域 CAN-DOリスト 対応項目	言語活動	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit7 My Best Memory (8)	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、小学校の思い出について話したり、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いたりすることができる。 また、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を読んで意味が分かる。 ※なお、本単元における「話すこと[発表]」については目標に向けた指導は行いが、本単元内で記録に残す評価は行わない。	書くこと イ  読むこと イ	一番思い出深い出来事をまとめた「小学校の思い出カード」を書く。  グループの友達と、互いが書いた「小学校の思い出カード」を交換して読み合い、分かったことをワークシートにまとめる。	<p>〈知識〉 学校行事、動作などを表す語句や My best memory is ～. We went ～. We saw ～. I enjoyed～.の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉  <input type="checkbox"/>小学校の思い出について、音声で十分に慣れ親しんだ上記の語句や表現を用いて、書く技能を身に付けている。  <input type="checkbox"/>小学校の思い出について、音声で十分に慣れ親しんだ上記の語句や表現で書かれたものを読んで、意味が分かるために必要な技能を身に付けている。</p>	<input type="checkbox"/> 自分のことをよく知ってもらうために、小学校の思い出について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いている。  <input type="checkbox"/> 相手のことをよく知るために、小学校の思い出について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を読んで意味が分かっている。	<input type="checkbox"/> 自分のことをよく知ってもらうために、小学校の思い出について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書こうとしている。  <input type="checkbox"/> 相手のことをよく知るために、小学校の思い出について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を読んで意味を分かろうとしている。
Unit8 My Future, My Dream (8)	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、中学校生活に向けての抱負や将来の夢について、短い話の概要を捉えたり、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話したりすることができる。	聞くこと ウ  話すこと [発表] ウ	教員やALTの話聞き、中学校生活に向けての抱負や夢について短い話の内容を聞き取る。  1人ずつ、学級全体の前で、中学校生活に向けての抱負や将来の夢について発表する。その様子を動画で撮影して、中学校の教員へのメッセージ動画とする。	<p>〈知識〉 部活動や学校行事、職業、動作などを表す語句や I want to join ～. I want to enjoy ～. I'm good at ～. I want to be ～.の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉  <input type="checkbox"/>中学校生活に向けての抱負や将来の夢について、短い話の概要を捉える技能を身に付けている。  <input type="checkbox"/>中学校生活に向けての抱負や将来の夢について、上記の語句や表現等を用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。</p>	<input type="checkbox"/> 相手のことをよく知るために、中学校生活に向けての抱負や将来の夢について、短い話の概要を捉えている。  <input type="checkbox"/> 自分のことをよく知ってもらうために、中学校生活に向けての抱負や将来の夢について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話している。	<input type="checkbox"/> 相手のことをよく知るために、中学校生活に向けての抱負や将来の夢について、短い話の概要を捉えようとしている。  <input type="checkbox"/> 自分のことをよく知ってもらうために、中学校生活に向けての抱負や将来の夢について、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。
パフォーマンステスト3 (2)	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、中学校生活に向けての抱負や将来の夢について、考えや気持ちなどを伝え合うことができる。	話すこと [やり取り] イ	教員やALTと1対1でやり取りを行い、中学校生活に向けての抱負や将来の夢についての質問に答える。	<p>〈知識〉 上に同じ</p> <p>〈技能〉  <input type="checkbox"/>中学校生活に向けての抱負や将来の夢について、上記の語句や表現等を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。         </p>	<input type="checkbox"/> 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、中学校生活に向けての抱負や将来の夢について、考えや気持ちなどを話している。	<input type="checkbox"/> 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、中学校生活に向けての抱負や将来の夢について、考えや気持ちなどを話そうとしている。



# 年間指導計画作成手順

STEP1

STEP2

STEP3

## 第5学年 年間指導計画（1学期）

単元名 (時数)	単元の目標	重点領域 CAN-DOリスト 対応項目	言語活動	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit 1 Hello, friends. (8)	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、名前や好きなものについて聞き取ったり、考えや気持ちなどを伝え合ったりすることができる。また、アルファベットの活字体の読み方を発音したり、書いたりすることができる。  ※なお、本単元における「読むこと」「書くこと」については、目標に向けた指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。	聞くこと ア  話すこと [やり取り] イ	教員とALTの自己紹介から、名前や好きなものなどを聞き取る。  学級の友達と、名刺カードを示しながら名前や好きなものなどを尋ね合い、自己紹介を行う。	〔知識〕 きやスポーツ、食べ物などを表す語句や How do you spell your name? I'm ~. I like ~. What ~ do you like? の表現について理解している。  〔技能〕 名前や好きなものについて、上記の語句や表現を聞き取る技能を身に付けている。  名前や好きなものについて、上記の語句や表現等を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	①相手のことをよく知るために、名前や好きなものについて聞き取っている。  ②自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、名前や好きなものについて、考えや気持ちなどを伝え合っている。	①相手のことをよく知るために、名前や好きなものについて聞き取ろうとしている。  ②自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、名前や好きなものについて、考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。
Unit 2 When is your birthday? (8)	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、誕生日や欲しいものについて、具体的な情報を聞き取ったり、考えや気持ちなどを伝え合ったりすることができる。	聞くこと イ  話すこと [やり取り] イ	教員とALTのやり取りから、誕生日や欲しいものなどの具体的な情報を聞き取る。  学級の友達と、誕生日や欲しいものなどを尋ね合う。尋ね合ったことを基にパスデーカードを作成する。	〔知識〕 日や日付、身の回りのものなどを表す語句や When is your birthday? My birthday is ~. What do you want for our birthday? I want ~. の表現について理解している。  〔技能〕 誕生日や欲しいものについて、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。  誕生日や欲しいものについて、上記の語句や表現等を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	①相手のことをよく知るために、誕生日や欲しいものについて、具体的な情報を聞き取っている。  ②自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、誕生日や欲しいものについて、考えや気持ちなどを伝え合っている。	①相手のことをよく知るために、誕生日や欲しいものについて、具体的な情報を聞き取ろうとしている。  ②自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、誕生日や欲しいものについて、考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。
Unit 3 What do you want to study? (8)	自分のことをよく知ってもらうために、学びたい教科ややりたい職業について、話すことができる。	話すこと [発表] ア	オリジナルの時間割を作成し、学びたい教科ややりたい職業などをグループの友達に発表する。	〔知識〕 日や教科、職業などを表す語句や What do you want to study? I want to study ~. What do you want to be? I want to be ~. の表現について理解している。  〔技能〕 学びたい教科ややりたい職業について、上記の語句や表現等を用いて、話す技能を身に付けている。	③自分のことをよく知ってもらうために、学びたい教科ややりたい職業について、話している。	③自分のことをよく知ってもらうために、学びたい教科ややりたい職業について、話そうとしている。
パフォーマンステスト1 (2)	上に同じ	上に同じ	同様の発表を学級全体の前で行う。	※本計画では、パフォーマンステスト1をUnit3と関連付けているが、学校の実態に応じ、他の単元と関連付けたり、Unit1～3の内容を総合したりして実施することが考えられる。		

### STEP 1 CAN-DOリストと使用教科書から単元の目標と重点領域を設定する

学習到達目標をCAN-DOリストで確認し、使用教科書と関連付けて、単元の目標を決める。年間を通じて五つの領域の到達目標が網羅されるように、重点領域とCAN-DOリスト対応項目を各単元に割り振る。

※ ただし、「読むこと」「書くこと」については、指導の初期段階では記録に残す評価を行わない。また、「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」については、学級担任やALTと条件をそろえた形で行えるように、学期に1回程度のパフォーマンステストを設定する。

### STEP 2 単元の目標を達成するための言語活動を考える

目的や場面、状況などを設定した言語活動の大まかな内容を考える。なお、1つの単元で2つの領域を重点とする場合は、それぞれの領域に対応する言語活動を考える。

### STEP 3 観点別評価規準を決める

「知識・技能」については、扱う言語材料が分かるように記載する。

「思考・判断・表現」については、単元の最終の言語活動において設定するコミュニケーションを行う目的や場面、状況などが分かるように記載する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、「思考・判断・表現」に記載した内容を「～しようとしている」と変えて記載する。

# 単元の指導と評価の計画

## 単元の構成と作成手順

### STEP1

単元の指導と評価の計画	
単元名	6年 Unit 4 Summer Vacations in the World
単元の目標	自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話すことができる。 「話すこと【発表】ウ」

#### ○単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>〈知識〉</b> 場所や動作、食べ物、様子などを表す語句や I went ～. I enjoyed ～. I ate ～. It was ～. の表現について理解している。 <b>〈技能〉</b> 夏休みの思い出について、上記の語句や表現等を用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。	自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話している。	自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。

## 学習過程

#### ○単元の指導と評価の計画

STEP4	本時の目標	◇主な言語活動	各時間に扱う表現
1	行った場所やしたこと、感想を聞き取ることができる。	◇【Starting Out】 何を話すか想像してから音声教材を聞き、行った場所やしたこと、感想を聞き取る。	I went ～. I enjoyed ～. It was ～.
2	夏休みに行った場所を伝え合うことができる。	◇【Interview】 紹介する夏休みの思い出を決め、友達と、夏休みに行った場所について、尋ねたり答えたりする。	A: Where did you go? B: I went ～.
3	夏休みに食べた物を伝え合うことができる。	◇【Let's Try②】 グループの友達と夏休みに食べた物を尋ねたり答えたりする。	A: What did you eat? B: I ate ～.
4	夏休みに楽しんだことやその感想を伝え合うことができる。	◇【Let's Try③】 グループの友達に夏休みに楽しんだことやその感想を尋ねたり答えたりする。	A: How was your summer vacation? B: I enjoyed ～. It was ～.
5	発表する夏休みの思い出について書くことができる。	◇【Writing】 夏休みの思い出について整理し、行った場所やしたこと、感想などを、例文を参考にして書く。	I went ～. I enjoyed ～. I ate ～. It was ～.
	夏休みの思い出について内容を整理して話すことができる。	◇【Speech】 夏休みの思い出について行った場所やしたこと、感想などを教員やALTに話す。発表の練習をしたり、絵カードを作成したりする。	I went to Hanayama. I enjoyed hiking. I ate a rice ball. It was fun.
7	STEP2 いし、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話すことができる。	◇【Step③】 グループの友達に、「夏休みの思い出メモ」を見せながら、夏休みの思い出について話す。	I went to Hanayama. I enjoyed hiking. I ate a rice ball. It was fun.
8		◇【Step③】 前時とは違うグループの友達と、夏休みの思い出について話す。	

## 学習状況の確認

○の領域…学習状況を確認  
□の領域…記録に残す評価

評価の観点	本時の評価規準	記録
知・技	行った場所やしたこと、感想を聞き取っている。	○
思	夏休みに行った場所を伝え合っている。	○
判	夏休みに食べた物を伝え合っている。	○
表	夏休みに楽しんだことやその感想を伝え合っている。	○
態	発表する夏休みの思い出について書いている。	○
	夏休みの思い出について内容を整理して話している。	○
	単元を通して評価を行う	○
	単元の評価規準を参照	○
	※第7時に評価できなかった児童の評価や努力を要する児童の再評価を行う。	○

表現に出会う活動  
目標を持つ

語彙や表現に慣れる活動

表現(やり取り)により慣れる活動

最終の言語活動

記録には残さないが、言語活動の様子から本時の目標に到達しているか把握する



必要な指導や支援を行う

指導・支援  
アイデア集

言語活動の様子から、単元の目標に到達しているか評価する

評価事例集

## 作成手順

## 記録に残す評価

### STEP1

CAN-DOリストと年間指導計画を確認し、単元の目標を設定する。

### STEP2

思考力、判断力、表現力等を育成するために、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを明確にして、最終の言語活動を設定する。

### STEP3

観点ごとに、記録に残す評価を行う時間を設定する。

### STEP4

1単位時間ごとの目標と言語活動を設定する。

### STEP5

1単位時間ごとに学習状況を確認する領域と評価規準を設定する。

## 単元の指導と評価の計画

単元名	年 Unit
単元の目標	

### ○単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈知識〉		
〈技能〉		

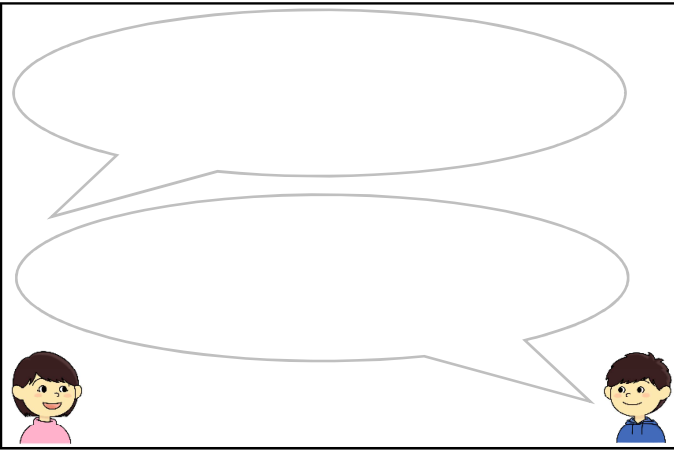
○の領域…学習状況を確認する  
□の領域…記録に残す評価を行う

### ○単元の指導と評価の計画

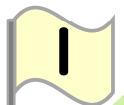
時数	本時の目標	◇主な言語活動 <small>[ ] は教科書に提示されている活動</small>	各時間に扱う表現	評価の観点			本時の評価規準
				知・技	思・判・表	態 度	
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							

# 年 Unit

単元の目標



A box containing two speech bubbles and two cartoon characters, a girl on the left and a boy on the right, positioned as if they are speaking.



Blank rectangular box for notes at the first step.



Blank rectangular box for notes at the second step.



Blank rectangular box for notes at the third step.



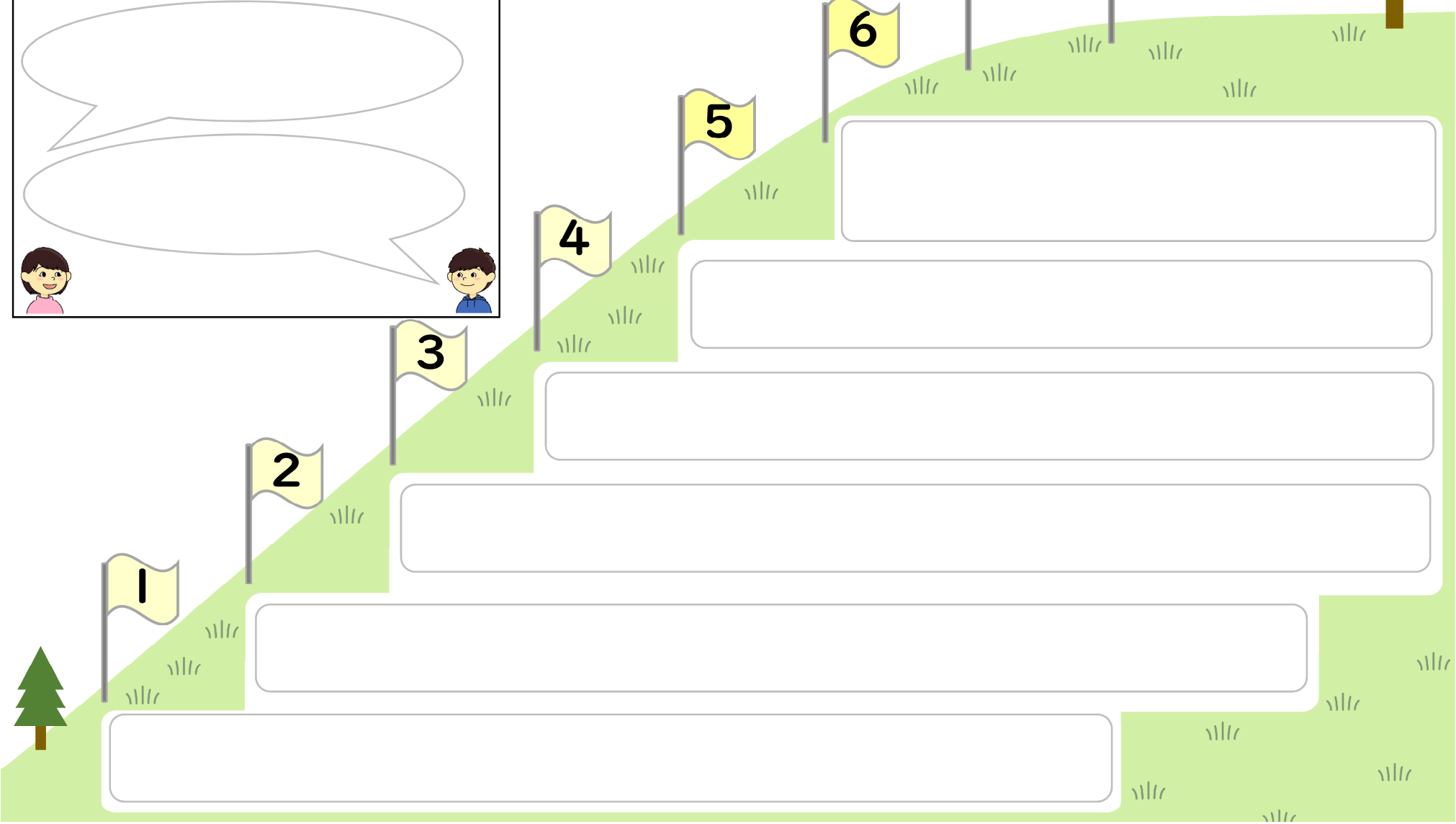
Blank rectangular box for notes at the fourth step.



Blank rectangular box for notes at the fifth step.



Blank rectangular box for notes at the sixth step.



# 年 Unit

クラス	番号	名前
-----	----	----

## 単元の目標

☆ : その時間のめあては達成できたかな。どれくらいできたか☆をぬろう！

□ : その時間に「分かったことやできたこと、がんばったこと」を書こう！

▭ : この Unit の学習で「できるようになったことやがんばったこと」を書こう！

この学習でできるようになりたいことは何ですか。

1

2

3

4

5

6,7

8

8 この学習でできるようになったことは何ですか。

できるようになるために何をどのようにがんばりましたか。